2023年度	<u> </u>	講 我 做 安					11.恍とりかっ	フサロナ収
科目名		学外現場実	型 II	担当講師(実務経験)	有壁 和  有■ 無□			
				年次·学期	2年			
授業形態	□講訓	養 <b>■</b> 実習	授業コマ数		前期(50)		時間(単位)	100(3)
					パッパッパッパッパック  割や責任を理解			
テキスト等	1000	14 OLCVERNY (T	Am Care (IX)		1. (ALC:E/	1 0 ( ) ( 1) 11 11 11		
7 1711 4	評	 価方法	評価割合(9	%)				
	定期試験			· ·	冒先での評価を	を基に総合的	に評価	
   評価方法	小テスト・お	支術力•作品		 % 実習	習前オリエンテ	ーションの実	施	
評価基準	レポート			50% 施設	により実習内容	は変更になる	場合があります	
	授業態度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		30%				
	出席状況	兄		20%				
		講	<b>養</b> テーマ			講義内容	<u> </u>	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	ペットシ	/ョップ実習 /ョップ実習	飼い主と 愛ペリの いいで の の の の の の の の の の の の の	ョップの衛生管 返り(自宅にで ョップにおける の適切なコミニ 物を適正に管理 ョップの衛生管 返り(自宅にで ョップにおける この適切なコミニ	ユニケーション 里する方法に 理・環境整備 レポート作成 トリマーの役割 ユニケーション サマーの役割 エマーの役割 エアート作成 トリマーの役割 エアーション	を理解する ついて理解する には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	解する る 解する
授業進行	16 17 18 19 20 21 22 23 24	ペットショップ実習 ペットショップ実習		1日の振 ペットショ 飼い主と 愛玩動物 ペットショ	トショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解するの振返り(自宅にてレポート作成)  トショップにおけるトリマーの役割を理解する  ・主との適切なコミュニケーションを理解する  ・動物を適正に管理する方法について理解する  トショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する  の振返り(自宅にてレポート作成)			3
	25 26 27 28 29 30	ペットショップ実習		飼い主と 愛玩動物 ペットショ	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する 飼い主との適切なコミュニケーションを理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)			
	31 32 33 34 35 36	ペットシ	/ョップ実習	飼い主と 愛玩動物 ペットショ		ュニケーション 埋する方法に 理・環境整備	を理解する ついて理解する 前の必要性を理	
·		-	-	51	<del></del>			

授業進行	37 38 39 40 41 42 43	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する 飼い主との適切なコミュニケーションを理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
汉未进1]	44 45 46 47 48 49 50	ペットショップ実習	ペットショップにおけるトリマーの役割を理解する 飼い主との適切なコミュニケーションを理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する ペットショップの衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)

科目名	1	メージトレーニ	ング学	担当記(実務網	講師経験)	有壁 和			
対象学科	大	ぐの美容学科		年次•	学期	2年	(■前期	<ul><li>□後期 )</li></ul>	
授業形態	■講	義 □実習	授業コマ数(	(1コマ90	)分)	前期(15)	後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	犬種の特	寺徴を最大限に	こ生かす仕上	げのイフ	メージを	理解する			
テキスト等	トリミング	゛学2テキスト							
	評	価方法	評価割合(%	%)					
	定期試験	<b></b>		60%					
評価方法	小テスト・	技術力•作品		20%					
評価基準	授業態								
	レポート			%					
	出席状活	1		20%			≇井井□	144	
			・		) 517	-0 a Lii . a	講義内容		
	1	ラム・クリップ(	か手順 1 	フ・	ラム・クリップのクリッピング法、カット法①				
	2	ラム・クリップの手順 2		ラ.	ラム・クリップのクリッピング法、カット法②				
	3	ラム・クリップ	犬	大体モデルでの実践①					
	4	ラム・クリップ	犬	体モデ	ルでの実践の	2)			
	5	ビションフリー	-ゼのペットカッ	ットビ	ションフ	'リーゼのペッ	トカット		
	6	ダックスフンド	うのトリミング	ダ	ダックスフンドのトリミング法				
極業准行	7	ポメラニアンの	りペットカット	ポ	ポメラニアンのカット法				
授業進行	8	ポメラニアンの	ワペットカット	ポ	ポメラニアンの実技講習				
	9	ウエスティーの	のペットカット	ウ	ウエスティーのカット法				
	10	アメリカンコッカー:	スパニエルのペット	カットア	メリカン	コッカ―スパ	ニエルのカッ	小法 	
	11	ミニチュアシュナ	ーウザーのペットフ	カットミニ	ニチュア	<b>ン</b> ュナウザー	ーのカット法		
	12	ダッチ・クリッ	プの手順	ダ	ッチ・ク	リップのクリッ	ピング法、カ	ット法	
	13 ダッチ・クリップ 1		犬	体モデ	ルでの実践(	D			
	14	ダッチ・クリッ	プ2	犬	:体モデ	かでの実践の	2		
	15	個性カット		ブ	ーツカ	ット・パンツカ	ット・アフロカ	ットなど	

科目名	}	リミング応用実	長習Ⅲ		当講師	長崎 幸恵·有壁 和 有■ 無□			]
対象学科		犬の美容学	科	年	欠•学期	2生	平( □前期	<ul><li>■後期 )</li></ul>	
授業形態	□講	義 ■実習	授業コマ数	(1コ 、	マ90分)	前期(-)	後期(120)	時間(単位)	240(8)
概要	プードル	<i>、</i> のラムクリップ	技法を身に着	計ける	)			·	
テキスト等	トリミング	デキスト I・ト!	ミング実習器	具					
	評	価方法	評価割合(9	%)					
	定期試験	<b>倹</b>		60%					
評価方法 評価基準	小テスト・授業態度	技術力•作品		%					
	レポート			20%					
	出席状泡	兄		20%					
		講	<b>ミテーマ</b>				講義内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	1	応用実習 ステップ11			犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 1				
	2	応用実習 ステップ11			大種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 2				
	3	応用実習 ステップ11			犬種の特	<b>持徴を最大</b> 限	とに生かすトリー	ミング技法 3	
	4	応用実習 ステップ11			犬種の特	<b>持徴を最大</b> 限	とに生かすトリー	ミング技法 4	
	5	応用実習 ステップ11			犬種の特	<b>持徴を最大限</b>	とに生かすトリョ	ミング技法 5	
	6	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	持徴を最大限	とに生かすトリー	ミング技法 6	
1-5 M/s M/s /-	7	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	持徴を最大限	とに生かすトリ	ミング技法 7	
授業進行   	8	応用実習 ス	テップ11		犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 8				
	9	応用実習 ス	テップ11		犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 9				
	10	応用実習 ス	テップ11		犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 10				
	11	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	<b>持徴を最大限</b>	とに生かすトリー	ミング技法 11	
	12	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	<b>持徴を最大限</b>	とに生かすトリー	ミング技法 12	
	13	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	持徴を最大限	とに生かすトリー	ミング技法 13	
	14	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	<b>持徴を最大限</b>	とに生かすトリー	ミング技法 14	
	15	応用実習 ス	テップ11		犬種の特	<b>持徴を最大限</b>	とに生かすトリ	ミング技法 15	

		講義テーマ	講義内容
	16	応用実習 ステップ11	犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 16
	17	応用実習 ステップ11	犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 17
	18	応用実習 ステップ11	犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 18
	19	応用実習 ステップ11	犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 19
	20	応用実習 ステップ11	犬種の特徴を最大限に生かすトリミング技法 20
	21	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 1
	22	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 2
	23	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 3
	24	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 4
	25	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 5
	26	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 6
授業進行	27	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 7
	28	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 8
	29	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 9
	30	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 10
	31	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 11
	32	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 12
	33	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 13
	34	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 14
	35	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 15
	36	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 16
	37	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 17
	38	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 18
	39	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 19

		講義テーマ	講義内容
	40	応用実習 ステップ12	様々なトリミング犬種におけるトリミング技法 20
	41 応用実習 >	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 1
	42	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 2
	43	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 3
	44	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 4
	45	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 5
	46	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 6
	47	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 7
	48	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 8
	49	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 9
授業進行	50	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 10
	51	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 11
	52	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 12
	53	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 13
	54	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 14
	55	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 15
	56	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 16
	57	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 17
	58	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 18
	59	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 19
	60	応用実習 ステップ13	時間配分を考慮したトリミング技法 20

		講義テーマ	講義内容
	61	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 1
	62	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 2
	63	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 3
	64	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 4
	65	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 5
	66	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 6
	67	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 7
	68	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 8
	69	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 9
授業進行	70	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 10
	71	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 11
	72	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 12
	73	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 13
	74	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 14
	75	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 15
	76	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 16
	77	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 17
	78	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 18
	79	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 19
	80	応用実習 ステップ14	時間短縮を考慮したトリミング技法 20

		講義テーマ	講義内容
	81	応用実習 ステップ15	総仕上げ 1
	82	応用実習 ステップ15	総仕上げ 2
	83	応用実習 ステップ15	総仕上げ 3
	84	応用実習 ステップ15	総仕上げ 4
	85	応用実習 ステップ15	総仕上げ 5
	86	応用実習 ステップ15	総仕上げ 6
	87	応用実習 ステップ15	総仕上げ 7
	88	応用実習 ステップ15	総仕上げ 8
	89	応用実習 ステップ15	総仕上げ 9
授業進行	90	応用実習 ステップ15	総仕上げ 10
	91	応用実習 ステップ15	総仕上げ 11
	92	応用実習 ステップ15	総仕上げ 12
	93	応用実習 ステップ15	総仕上げ 13
	94	応用実習 ステップ15	総仕上げ 14
	95	応用実習 ステップ15	総仕上げ 15
	96	応用実習 ステップ15	総仕上げ 16
	97	応用実習 ステップ15	総仕上げ 17
	98	応用実習 ステップ15	総仕上げ 18
	99	応用実習 ステップ15	総仕上げ 19
	100	応用実習 ステップ15	総仕上げ 20

		講義テーマ	講義内容
	101	応用実習 ステップ15	総仕上げ 21
	102	応用実習 ステップ15	総仕上げ 22
	103	応用実習 ステップ15	総仕上げ 23
	104	応用実習 ステップ15	総仕上げ 24
	105	応用実習 ステップ15	総仕上げ 25
	106	応用実習 ステップ15	総仕上げ 26
	107	応用実習 ステップ15	総仕上げ 27
	108	応用実習 ステップ15	総仕上げ 28
	109	応用実習 ステップ15	総仕上げ 29
授業進行	110	応用実習 ステップ15	総仕上げ 30
	111	応用実習 ステップ15	総仕上げ 31
	112	応用実習 ステップ15	総仕上げ 32
	113	応用実習 ステップ15	総仕上げ 33
	114	応用実習 ステップ15	総仕上げ 34
	115	応用実習 ステップ15	総仕上げ 35
	116	応用実習 ステップ15	総仕上げ 36
	117	応用実習 ステップ15	総仕上げ 37
	118	応用実習 ステップ15	総仕上げ 38
	119	総括	全体確認①
	120	総括	全体確認②

科目名	ŀ	・リミング応用争	実習Ⅱ		á講師 務経験)		長崎 有■	幸恵·有壁 和 無□	
対象学科		犬の美容学	·科	年次	•学期	2年	(■前期	<ul><li>□後期 )</li></ul>	
授業形態	□講	義 ■実習	授業コマ数	(1コマ9	90分)	前期(120)	後期(-)	時間(単位)	240 (8)
概要	プードル	<i>、</i> のラムクリップ	。技法を身に着	計ける				'	
テキスト等	トリミング	デキスト I ・ト!	ミング実習器	具					
	評	価方法	評価割合(%	%)					
	定期試験	<b>険</b>		60%					
評価方法 評価基準		技術力•作品		%					
	授業態								
	レポート			20%					
	出席状法	1	<b>&amp;</b> テーマ	20%			講義内容	₹	
	1	応用実習 ス		身	<b>基礎の</b> 見	L直し 1	<del>再我</del> 们名	<u> </u>	
	2	応用実習 ステップ5		基	基礎の見	L直し 2			
	3	応用実習 ステップ5		基	甚礎の見	L直し 3			
	4	応用実習 ステップ5		基	基礎の見	L直し 4			
	5	応用実習ス	テップ5	基	基礎の見	L直し 5			
	6	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	L直し 6			
	7	応用実習 ス	テップ5	基	基礎の見直し 7				
授業進行	8	応用実習 ス	テップ5	基	基礎の見直し 8				
	9	応用実習 ス	テップ5	基	基礎の見直し 9				
	10	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	上直し 10			
	11	応用実習 ス	テップ5	基	基礎の見	L直し 11			
	12	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	L直し 12			
	13	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	上直し 13			
	14	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	L直し 14			
	15	応用実習 ス	テップ5	基	<b>基礎の</b> 見	上直し 15			

2023年度,		講義テーマ	
	16	応用実習 ステップ5	基礎の見直し 16
	17	応用実習 ステップ5	基礎の見直し 17
	18	応用実習 ステップ5	基礎の見直し 18
	19	応用実習 ステップ5	基礎の見直し 19
	20	応用実習 ステップ5	基礎の見直し 20
	21	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 1
	22	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 2
	23	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 3
	24	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 4
	25	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 5
	26	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 6
授業進行	27	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 7
	28	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 8
	29	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 9
	30	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 10
	31	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 11
	32	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 12
	33	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 13
	34	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 14
	35	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 15
	36	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 16
	37	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 17
	38	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 18
	39	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 19

		講義テーマ	講義内容
	40	応用実習 ステップ6	オーダーに合わせたトリミング 20
	41	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 1
	42	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 2
	43	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 3
	44	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 4
	45	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 5
	46	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 6
	47	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 7
	48	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 8
	49	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 9
授業進行	50	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 10
	51	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 11
	52	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 12
	53	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 13
	54	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 14
	55	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 15
	56	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 16
	57	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 17
	58	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 18
	59	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 19
	60	応用実習 ステップ7	ラムクリップにおけるクリッピング・クリッパー止め 20

		講義テーマ	講義内容
	61	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 1
	62	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 2
	63	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 3
	64	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 4
	65	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 5
	66	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 6
	67	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 7
	68	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 8
	69	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 9
授業進行	70	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 10
	71	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 11
	72	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 12
	73	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 13
	74	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 14
	75	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 15
	76	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 16
	77	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 17
	78	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 18
	79	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 19
	80	応用実習 ステップ8	ラムクリップにおけるスクエアカット 20

		講義テーマ	講義内容
	81	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 1
	82	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 2
	83	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 3
	84	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 4
	85	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 5
	86	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 6
	87	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 7
	88	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 8
	89	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 9
授業進行	90	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 10
	91	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 11
	92	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 12
	93	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 13
	94	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 14
	95	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 15
	96	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 16
	97	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 17
	98	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 18
	99	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 19
	100	応用実習 ステップ9	ラムクリップにおける頭部表現 20

		講義テーマ	講義内容
	101	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 1
	102	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 2
	103	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 3
	104	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 4
	105	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 5
	106	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 6
	107	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 7
	108	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 8
	109	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 9
授業進行	110	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 10
	111	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 11
	112	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 12
	113	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 13
	114	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 14
	115	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 15
	116	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 16
	117	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 17
	118	応用実習 ステップ10	短所を補い長所を生かすトリミング技法 18
	119	総括	全体確認①
	120	総括	全体確認②

科目名		ペットエステル	芯用	担当講師(実務経験)	長崎 幸恵
対象学科	犬の美容学科		·科	年次·学期	2年 ( ■前期 ・ ■後期 )
授業形態	□講	義 ■実習	授業コマ数	(1コマ90分)	前期(30) 後期(30) 時間(単位) 120(4)
概要	より高度	なペットエステ	ティック技法を	を身に着け、	実践的に応用するテクニックを習得する
テキスト等	トリミング	道具 ペットコ	ニステティックラ	テキスト(ブロ	ンズ・シルバー)
	評	価方法	評価割合(	%)	
	定期試験	<b></b>		60%	
評価方法	小テスト・	技術力・作品		20%	
評価基準	授業態				
	レポート			%	
	出席状态			20%	344 344 J. p. 2-4
		講義テー			講義内容
	1	アロマバス応	用 1	カウンヤ	マリングと施術 ①
	2	アロマバス応用 2		カウンセ	マリングと施術 ②
	3	タラソセラピー応用 1		カウンヤ	ビリングと施術 ①
	4	タラソセラピー応用 2		カウンセ	ビリングと施術 ②
	5	アロマセラピー応用 1		カウンヤ	マリングと施術 ①
	6	アロマセラピー応用 2		カウンセ	マリングと施術 ②
155 M/s 145 / -	7	ビビッドカラー概論(講義)		ビビッド	カラーシステムのメカニズム・テクニカルプロセス
授業進行	8	カラーレストレーション(講義)		養) カラーレ	ノストレーションのメカニズム・テクニカルプロセス
	9	カラーリング	1	使用法	・注意点·施術法 ①
	10	カラーリング	2	使用法	・注意点·施術法 ②
	11	カラーリング 3		使用法	・注意点·施術法 ③
	12	カラーリング	4	使用法	・注意点·施術法 ④
	13	アロマバス応	用 3	カウンセ	セリングと施術 ③
	14	アロマバス応	用 4	カウンセ	セリングと施術 ④
	15	タラソセラピー	-応用 3	カウンセ	セリングと施術 ③

		講義テーマ	講義内容
	16	タラソセラピー応用 4	カウンセリングと施術 ④
	17	アロマセラピー応用 3	カウンセリングと施術 ③
	18	アロマセラピー応用 4	カウンセリングと施術 ④
	19	カラーリング 5	使用法·注意点·施術法 ⑤
	20	カラーリング 6	使用法·注意点·施術法 ⑥
	21	アロマバス応用 5	カウンセリングと施術 ⑤
	22	アロマバス応用 6	カウンセリングと施術 ⑥
	23	タラソセラピー応用 5	カウンセリングと施術 ⑤
	24	タラソセラピー応用 6	カウンセリングと施術 ⑥
	25	アロマセラピー応用 5	カウンセリングと施術 ⑤
	26	アロマセラピー応用 6	カウンセリングと施術 ⑥
授業進行	27	カラーリング 7	使用法・注意点・施術法 ⑦
	28	カラーリング 8	使用法・注意点・施術法 ⑧
	29	総括	全体確認①
	30	総括	全体確認②
	31	施術の選択 1	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ①
	32	施術の選択 2	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ②
	33	施術の選択 3	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ③
	34	施術の選択 4	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ④
	35	施術の選択 5	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑤
	36	施術の選択 6	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑥
	37	施術の選択 7	カウンセリングと施術 ①
	38	施術の選択 8	カウンセリングと施術 ②
	39	施術の選択 7	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑦

1, 2, 2,	·子生 	<b>再</b> 赛	
		講義テーマ T	講義内容
	40	施術の選択 8	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑧
	41	施術の選択 9	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑨
	42	施術の選択 10	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑩
	43	施術の選択 11	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑪
	44	施術の選択 12	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑫
	45	施術の選択 13	カウンセリングと施術 ③
	46	施術の選択 14	カウンセリングと施術 ④
	47	施術の選択 15	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑬
	48	施術の選択 16	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑭
	49	施術の選択 17	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑮
授業進行	50	施術の選択 18	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑯
	51	施術の選択 19	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑰
	52	施術の選択 20	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ®
	53	施術の選択 21	カウンセリングと施術 ⑤
	54	施術の選択 22	カウンセリングと施術 ⑥
	55	施術の選択 23	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑩
	56	施術の選択 24	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ⑳
	57	施術の選択 25	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ②
	58	施術の選択 26	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ②
	59	施術の選択 27	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ②
	60	施術の選択 28	皮膚・被毛の状態を判断し、施術法を選択する ②

	八子生				11世代にプログラ寺门子仪
科目名	ŀ	・リミング応用争	<b>ミ習 I</b>	担当講師 (実務経験)	長崎 幸恵·有壁 和 有■ 無□
対象学科	犬の美容学科		年次学期	1年 ( □前期 ■後期 )	
授業形態	□講	義 ■実習	授業コマ数	(1コマ90分)	前期(-) 後期(120) 時間(単位) 240(8)
概要	一人で-	一頭の犬の全	タカットを仕上	:げる技術を	身に着ける
テキスト等	トリミング	デキスト I トリ	ミング実習器!	1	
	評	価方法	評価割合(	%)	
	定期試験	<b></b>		60%	
評価方法	小テスト打	支術力作品		%	
評価基準	授業態	变		70	
	レポート			20%	
	出席状泡	兄		20%	
		講	<b>遠</b> テーマ		講義内容
	1	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 1
	2	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 2
_	3	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 3
	4	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 4
	5	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 5
	6	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、)	分 江門回り、後躯のカット 6
	7	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、)	分 江門回り、後躯のカット 7
授業進行	8	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、)	分 江門回り、後躯のカット 8
	9	応用実習 ス	テップ1	時間配 四肢、	分 江門回り、後躯のカット 9
	10	応用実習 ス	テップ1	時間配 四肢、	分 江門回り、後躯のカット 10
	11	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 11
	12	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 12
	13	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 13
	14	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、	分 江門回り、後躯のカット 14
	15	応用実習 ス	テップ1	時間配四肢、)	分 江門回り、後躯のカット 15

2023年度八字生		再	一	
		講義テーマ		
	16	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 16	
	17	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 17	
	18	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 18	
	19	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 19	
	20	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 20	
	21	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 21	
	22	応用実習 ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット 22	
	23	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 1	
	24	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 2	
	25	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 3	
授業進行	26	応用実習 ステップ2	時間配分中躯のカット 4	
	27	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 5	
	28	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 6	
	29	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 7	
	30	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 8	
	31	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 9	
	32	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 10	
	33	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 11	
	34	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 12	
	35	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 13	
	36	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 14	
	37	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 15	

		講義テーマ	講義内容
	38	応用実習 ステップ2	時間配分 中躯のカット 16
	39	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 1
	40	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 2
	41	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 3
	42	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 4
	43	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 5
	44	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 6
	45	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 7
	46	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 8
	47	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 9
100 N/6 V/6 V	48	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 10
授業進行	49	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 11
	50	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 12
	51	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 13
	52	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 14
	53	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 15
	54	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 16
	55	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 17
	56	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 18
	57	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 19
	58	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 20
	59	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 21
	60	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 22

2023年度人	子生.	講義概要	札幌どりふつ専門字校
		講義テーマ	講義内容
	61	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 23
	62	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 24
	63	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 25
	64	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 26
	65	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 27
	66	応用実習 ステップ3	時間配分 全身カット(前躯頭部耳背線尾) 28
	67	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 1
	68	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 2
	69	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 3
	70	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 4
	71	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 5
授業進行	72	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 6
	73	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 7
	74	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 8
	75	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 9
	76	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 10
	77	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 11
	78	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(器具使用法) 12
	79	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 1
	80	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 2
	81	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 3
	82	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 4
	83	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 5

2023年度入	、字生	講義概要	札幌どうぶつ専門学校
		講義テーマ	講義内容
	84	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 6
	85	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 7
	86	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 8
	87	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 9
	88	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 10
	89	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 11
	90	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(被毛の仕上がり) 12
	91	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 1
	92	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 2
	93	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 3
	94	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 4
授業進行	95	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 5
	96	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 6
	97	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 7
	98	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 8
	99	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 9
	100	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 10
	101	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 11
	102	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(汚れる毛の処理) 12
	103	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 1
	104	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 2
	105	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 3
	106	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 4

2023年度人	子生	<b>講義</b>	
		講義テーマ	講義内容
	107	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 5
	108	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 6
	109	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 7
	110	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 8
	111	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 9
	112	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 10
授業進行	113	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 11
	114	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 12
	115	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 13
	116	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 14
	117	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 15
	118	応用実習 ステップ4	時間配分 総仕上げ(シンメトリー) 16
	119	総括	全体確認 1
	120	総括	全体確認 2

科目名		トリミング基礎		担当講師(実務経験)	長崎 幸惠·有壁 和 有■ 無□					
対象学科		犬の美容学	·科	年次学期	1年	(■前期	□後期 )			
授業形態	□講	□講義 ■実習 授業コマ数(1コマ			前期(120)	後期(一)	時間(単位)	240(8)		
概要	トリミング	で基礎を身に	付ける							
テキスト等	トリミング	デキスト I トリ	ミング実習器具	具						
	評	価方法	評価割合(	%)						
	定期試験	<b></b>		60%						
評価方法	小テスト扌	支術力作品		%						
評価基準	授業態									
	レポート			20%						
	出席状活	1	<u> </u>	20%		** ★ ↓ ↓ · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del>~</del>			
			髪テーマ			講義内容	<del>`</del>			
	1	ガイダンス 1	-	トリミンク	で実習時の身だ	しなみ				
	2	ガイダンス 2	2		実習器具名前つけ犬体モデル配布 ブラッシング練習					
	3	ガイダンス 3	}		実習室の掃除と消毒法 キャリーケース消毒法					
	4	ガイダンス 4	Į.	ウィッグのブラッシング シザー練習						
	5	ガイダンス 5	5		トリミング実習前の準備 掃除の実践					
	6	ガイダンス 6	5		ブラッシング練習 綿棒の作り方					
<b>柯光</b>	7	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の保定 器具の使用法 1					
授業進行	8	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 2			
	9	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 3			
	10	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 4			
	11	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 5			
	12	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 6			
	13	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 7			
	14	基礎実習ス	テップ1	グルー	ミング作業 犬の 	保定 器具	の使用法 8			
	15	基礎実習ス	テップ1	グルー	シグ作業 犬の	保定 器具	の使用法 9			

, , , ,	·于工 	講義テーマ	講義内容
	16	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 10
	17	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 11
	18	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 12
	19	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 13
	20	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 14
	21	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 15
	22	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 16
	23	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 17
	24	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 18
	25	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 19
	26	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 20
授業進行	27	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 21
	28	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 22
	29	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 23
	30	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 24
	31	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 25
	32	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 26
	33	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 27
	34	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 28
	35	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 29
	36	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 30
	37	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 31
	38	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 32
	39	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 33

	十工	講義テーマ	講義内容
	40	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 34
	41	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 35
	42	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 36
	43	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 37
	44	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 38
	45	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 39
	46	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 40
	47	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 41
	48	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 42
	49	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 43
	50	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 44
授業進行	51	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 45
	52	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 46
	53	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 47
	54	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 48
	55	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 49
	56	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 50
	57	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 51
	58	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 52
	59	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 53
	60	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 54
	61	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 55
	62	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 56
	63	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 57

2023年及八	,	講義テーマ	講義内容
	64	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 58
	65	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 59
	66	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 60
	67	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 61
	68	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 62
	69	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 63
	70	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 64
	71	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 65
	72	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 66
	73	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 67
	74	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 68
授業進行	75	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 1
	76	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 2
	77	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 3
	78	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 4
	79	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 5
	80	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 6
	81	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 7
	82	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 8
	83	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 9
	84	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 10
	85	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 11
	86	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 12
	87	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 13

	·于工 	講義テーマ	講義内容
	88	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 14
	89	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 15
	90	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 16
	91	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 17
	92	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 18
	93	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 19
	94	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 20
	95	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 21
	96	基礎実習 ステップ2	一人で行うグルーミング作業 22
	97	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 1
	98	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 2
授業進行	99	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 3
	100	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 4
	101	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 5
	102	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 6
	103	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 7
	104	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 8
	105	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 9
	106	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 10
	107	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 11
	108	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 12
	109	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 13
	110	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 14
	111	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 15

		講義テーマ	講義内容
	112	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 16
	113	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 17
	114	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 18
	115	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 19
授業進行	116	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 20
	117	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 21
	118	基礎実習 ステップ3	ボディクリッピング 22
	119	総括	全体確認 1
	120	総括	全体確認 2

科目名		ペットエステ	<b>基礎</b>	担当講師(実務経験						
対象学科		犬の美容学	科	年次·学	期 1年( □前期・ ■後期 )					
授業形態	□講	義 ■実習	授業コマ数	(1コマ90分)	) 前期(-)後期(30) 時間(単位) 60(2)					
概要	ペットエ	ステティックに	対する哲学・理	理念・技術の	の基礎を身に付ける					
テキスト等	トリミング用品・ペットエステティックテキスト				ロンズ・シルバー)					
	評	価方法	評価割合(	%)						
	定期試験	<b>険</b>		60%						
評価方法		技術力•作品		20%						
評価基準	授業態									
	レポート			%						
	出席状活			20%	建羊山坎					
		講義テー			講義内容					
	1	ベットエステ	既論 1(講義)	) ペット	、エステとは? ヘアケア―理論 ① 					
	2	ペットエステ根	既論 2(講義)	) ペット	、エステとは? ヘアケア―理論 ②					
	3	アロマバス概	論(講義)	ペット	ペット用アロマソルトの特徴・使用法について					
	4	タラソセラピー	-概論(講義)	ペット	ペット用泥パックの特徴・使用法について					
	5	アロマセラピ・	一概論(講義)	ペット	ペット用アロマ・簡易リンパマッサージについて					
	6	肉球ケア概論	論(講義)	肉球	肉球ケア製品の目的・特徴・使用法について					
应 米、H.7-	7	アロマバス基	礎 1	使用注	法・注意点・施術法(実習) ①					
授業進行	8	アロマバス基	礎 2	使用注	法·注意点·施術法(実習) ②					
	9	アロマバス基	礎 3	使用注	法·注意点·施術法(実習) ③					
	10	アロマバス基	礎 4	使用注	法·注意点·施術法(実習) ④					
	11	タラソセラピー	-基礎 1	使用注	法・注意点・施術法(実習) ①					
	12 タラソセラピー基礎 2		使用注	法·注意点·施術法(実習) ②						
	13	タラソセラピー	-基礎 3	使用注	法·注意点·施術法(実習) ③					
	14	タラソセラピー	-基礎 4	使用注	法·注意点·施術法(実習) ④					
	15	アロマセラピ・	一基礎 1	使用注	法・注意点・施術法(実習) ①					

	十工	<b>一种我似女</b>	11元とプログラサロ子仪					
		講義テーマ	講義内容					
	16 アロマセラピー	アロマセラピー基礎 2	使用法・注意点・施術法(実習) ②					
	17	アロマセラピー基礎 3	使用法・注意点・施術法(実習) ③					
	18	アロマセラピー基礎 4	使用法・注意点・施術法(実習) ④					
	19	アロマバス基礎 5	使用法・注意点・施術法(実習) ⑤					
	20	アロマバス基礎 6	使用法・注意点・施術法(実習) ⑥					
	21	アロマバス基礎 7	使用法・注意点・施術法(実習) ⑦					
	22	アロマバス基礎 8	使用法・注意点・施術法(実習) ⑧					
授業進行	23	タラソセラピー基礎 5	タラソセラピー基礎(実習) ⑤					
	24	タラソセラピー基礎 6	タラソセラピー基礎(実習) ⑥					
	25	タラソセラピー基礎 7	タラソセラピー基礎(実習) ⑦					
	26	タラソセラピー基礎 8	タラソセラピー基礎(実習) ⑧					
	27	アロマセラピー基礎 5	使用法・注意点・施術法(実習) ⑤					
	28	アロマセラピー基礎 6	使用法・注意点・施術法(実習) ⑥					
	29	アロマセラピー基礎 7	使用法・注意点・施術法(実習) ⑦					
	30	アロマセラピー基礎 8	使用法・注意点・施術法(実習) ⑧					

	八子生    神我恢安									
科目名		動物飼養管理			当講師 孫経験)	池田 麻美 有■ 無□				
対象学科		犬の美容学	————— 科	年	火·学期	2年	(■前期	<ul><li>●後期 )</li></ul>		
授業形態	■講	義 □実習	授業コマ数	(1コマ	マ90分)	前期(10)後	朔(5)	時間(単位)	30(2)	
概要						識しながら、15動を担う知識を		專門的知識	を高めると	
テキスト等	愛玩動物飼養管理士 教本1級 第1					. 1/1000				
	評価方法 評価割合(%)									
	定期試験	<b></b>		60%						
評価方法	小テスト・扌	支術力・作品		20%						
評価基準	授業態	度		20%						
	レポート			%						
	出席状泡	1		20%						
		講	<b>美テーマ</b>				講義内容			
	1	動物愛護論I動物関係法令			日本にお	おける動物愛護道	重動の歴史	と展望につい	7	
	2	動物関係法令	<del>↑</del> 2		伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に 人間としてどう対応するか、法律として規定について					
	3	動物の行動と	社会		動物の行動と社会(生活の組織)について					
	4	犬と猫の栄養	学		栄養学の基礎知識について					
	5	動物の遺伝と	繁殖整理		遺伝について					
	6	動物の疾病と	:その予防 1		総論					
1 NIC NIC 1	7	動物の疾病と	:その予防 2		犬猫の疾病とその予防					
授業進行	8	動物の疾病と	:その予防 3		その他動	動物の疾病とそ	一の予防			
	9	動物の飼養管	管理と公衆衛生	Ė 1	人と動物	の共通感染症と	その対策			
	10	動物の飼養管	管理と公衆衛生	Ė 2	自然と人	間				
	11	試験対策 1			模擬試懸	<b>(1)</b>				
	12	試験対策 2			模擬試懸	<b>2</b>				
	13	試験対策 3			模擬試懸	<b>(3)</b>				
	14	試験対策 4			模擬試懸	<b>(4)</b>				
	15	試験対策 5			模擬試懸	<b>§ 5</b>				

<u> </u>	2八子生			- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一							
科目名		ペットマッサー	ージ		i講師 経験)	川地 ヒロ 有■ 無□					
対象学科		犬の美容学科			2年 ( ■前期 · ■後期 )						
授業形態	■講	義 □実習	授業コマ数	(1コマ9	00分)	前期・後期(10)		時間(単位)	20(1)		
概要		末病の状態で、 力を引き出す動				気を発見し、マッサ-	ージを	施すことで動物	が持つ自		
テキスト等	筆記用具	具									
	割	7価方法	評価割合(	%)							
	定期試験	<u></u>		60%							
評価方法 評価基準	小テスト・授業態度	技術力•作品		20%							
	レポート			%							
	出席状态	兄		20%							
		講弟	<b>急テーマ</b>		講義内容						
	1	中医学の理論 中医学の基本			気、血、津液、経路についても解説 tui-naに関して・今日のクイズ						
	2	アキュプレッシ テクニックの紹			アキュプレッシャーとは何か? マッサージの必要性、tui-naのテクニック紹介						
	3	デモンストレー ハンズオン	ーション。ツボ打	探し主	主要なツボ紹介と位置。各部のマッサージの仕方						
	4	温通法の紹介			お灸。温パット、レーザー治療(鍼灸)、ホットストーン 今日のクイズ						
授業進行	5	理論復習 デモンストレー	ーション		中医学のの復讐。フルボディーのマッサージ デモンストレーション、グループセッション						
	6	デモンストレー 主要ツボの位			グループセッション 各症状のツボ確認。今日のクイズ						
	7	ハンドオン エッセイ提出			各3つのポイントを選択・デモンストレーション ペット健康維持とアキュプレッシャーの必要性						
	8	自然治療法	老犬ケア		家庭で施せる自然治療法の紹介 ディスカッション						
	9	ハンドオンテス	スト 筆記テス	トシ	/ョート〜	アッサージテスト(個人	.)•筆詞	記テスト			
	10	安全なマッサ	ージサポート			癌からの疼痛、怪我 !のないサポート法・質			サージに必		

2023年及7	<u> </u>	P	× 1		11版と 7分 7寸 1 丁仪							
  科目名		手話学		担当講師	公益	社E	団法	人札	幌聴覚障害者	協会		
71 11 71		1 111 子		(実務経験)		有■ 無□						
対象学科	犬の美容学科			年次•学期	2年	. (		前期	<ul><li>□後期 )</li></ul>			
授業形態	■講	義 □実習	授業コマ数(1	コマ90分)	前期(10)	後其	朔 (-	—)	時間(単位)	20(1)		
概要	外見では 対応がつ 1, 聴覚	ーションを を学び、基ス	を深めながら、 とるための方法 本的な手話を	らを 習得	学ひ  ・実	ます 選践で	-					
テキスト等	さっぽろ	の手話										
	言	<b>严</b> 価方法	評価割合(%	5)								
	定期試	<del></del> 験	60	0%								
評価方法	小テスト・	技術力•作品		20/								
評価基準	授業態度		20	J%  								
	レポート		(	%								
	出席状泡	· 兄	20	0%								
		講義	テーマ		講義内容							
	1	①聴覚障害の②伝えあって		②日常生	①理論講義「聴覚障害者の基礎知識」について学びます。 ②日常生活の中にあるものを身振りで伝えどのようにしたら伝 わるのか身振りや表情の工夫について学習します。							
	2	あいさつや名 手話を覚えま			挨拶・名前を表す方法を学び、聴覚障害者のコミュニケーションの方法がいろいろあることを理解します。							
	3	人物の手話を	:覚えましょう		家族の紹介をする学習をしながら、人物の表現の基礎となる手 話を学びます。							
	4	数の手話を覚	ええましょう	数の表し	数の表し方を学習して疑問詞を使って会話練習をします。							
授業進行	5	趣味の手話を	:覚えましょう	趣味に関す。	趣味に関する手話を学習して、疑問詞を使った会話練習をします。							
1,2,1,2,1,	6	職業の手話を	だえましょう	職業に関	職業に関わる手話を学習して、会話練習をします。							
	7	地名の手話を	:覚えましょう	住所や地	住所や地名に関わる手話を学習して、会話練習をします。							
	8	①手話の基礎 ②自己紹介の		②今まで	①理論講義「手話の基礎知識」について学びます。 ②今まで学んだ手話を活かして手話を正確に表現し意思をス ムーズに伝えあえるように練習します。							
	9	時に関する手	話を覚えまし	1月や17	か月の生活に	関す	-る-	手話を	を学習して、会記	舌練習をしま		
	10	①時に関する ②試験対策	手話を覚えましょ						して、会話練習 うに試験問題の			

科目名		動物形態機能	<b></b>		当講師	和田 好洋				
対象学科		大の美容学	—————— 科	年次	(・学期	 1年( ■前期 ・ □後期 )				
授業形態	■講	義 □実習	授業コマ数			前期(15) 後期(-) 時間(単位) 30(2)				
概要	動物の生命	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の			両面から学	び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解する				
テキスト等	愛玩動物飼養管理士2級教本第1巻			<del></del>						
	評	評価方法 評価割合(%)								
	定期試験	<b></b>		60%						
評価方法	小テスト・	技術力•作品		20%						
評価基準	授業態									
	レポート			%						
	出席状活		<u> </u>	20%		5# <del>2</del> 7				
		講	<b>姜テーマ</b>			講義内容				
	1	体の基本の付	上組み 1	ſ	体の成り	立ち 				
	2	体の基本の位	上組み 2	ſ	体を包むもの					
	3	体の基本の位	上組み3	ſ	体を支え、動かすもの					
	4	栄養を取り入	れる 1	Ý	消化器系と消化酵素・食べ物の通り道					
	5	栄養を取り入	れる 2	Ý	消化液・吸収された栄養分の使われ方					
	6	酸素を取り入	れる 1	3	外呼吸と内呼吸・空気を体の奥に運び込む					
	7	酸素を取り入	れる 2	1	血液中を流れるもの・リンパ管					
授業進行	8	酸素を取り入	れる 3	ı	心臓(血液を送り出す)					
	9	老廃物の排出、	異物の撃退と	解毒	腎臓(老	廃物の排出)・肝臓(異物の撃退と解毒)				
	10	感覚器 1		ł	視覚・聴覚・平衡感覚					
	11	感覚器 2		ù	床覚 <b>・</b> 嗅	覚・皮膚感覚				
	12	体内の情報の	5達1	礻	神経の働					
	13	体内の情報伝	S達 2		中枢神経	<b>&amp;</b> 系・末梢神経系				
	14	子どもを産み	 育てる 1	2	生殖器・	乳腺・ホルモン				
	15	子どもを産み	ーー 育てる 2	<i>_</i>	雄、雌の	生殖器				

科目名	動物行動学Ⅱ(猫学)			担当講師(実務経験)	/ A2							
<b>社</b> 在兴和		上の芝売学	EN .		有■ 無□ 							
対象学科 授業形態	犬の美容学 		年次・学期 授業コマ数(1コマ90分)			時間(単位) 30(2)						
概要				12 ( 30 )()	刊	时间(平位) 50(2)						
テキスト等	猫の起源、特徴や様々な猫種を学ぶ 猫の教科書											
評価方法評価基準	評価方法		評価割合(%	(a) I								
	定期試験			50%								
	小テスト・技術力・作品			— ────────────────────────────────────	授業進度は変更になる場合があります							
	授業態度		2	20%								
	レポート			%								
	出席状況		2	20%								
授業進行		講義テーマ			講義内容							
	1	猫の進化と歴史		人とのか	人とのかかわり							
	2	グルーミング演習1		猫のシャ	猫のシャンプー技術などを学ぶ①							
	3	猫の毛色。パターン1		目の色、	目の色、特徴①							
	4	猫の毛色。パターン2		目の色、	目の色、特徴②							
	5	現代の家猫達1		発生型、	発生型、体型①							
	6	現代の家猫達2		発生型、	発生型、体型②							
	7	猫の遺伝子1		血液型、	血液型、繁殖①							
	8	猫の遺伝子2		血液型、	血液型、繁殖②							
	9	グルーミング演習2		猫のシャ	猫のシャンプー技術などを学ぶ②							
	10	猫の健康1		免疫、伝	免疫、伝染病①							
	11	猫の健康2		免疫、伝	免疫、伝染病②							
	12	猫の特性1		感覚器(	感覚器①							
	13	猫の特性2		感覚器②	感覚器②							
	14	猫種1		世界の猫	世界の猫達、特徴①							
	15	猫種2		世界の猫	世界の猫達、特徴②							

		<b>女</b>				No.	<i></i>				
	動物栄養学	学	担当講師 (実務経験)		池田 麻美有■ 無□						
犬の美容学		科	年次·学期		1年( ■前期 ・ □後期 )						
■講義 □実習		授業コマ数 (1コマ		'90分)	前期(15)後其	期(一)	時間(単位)	30(2)			
犬猫に必											
コンパニ	1ンパニオンアニマルの新健康管理学										
評価方法		評価割合(%)									
定期試験		60%									
小テスト・技術力・作品		20%									
授業態度											
		<u> </u>				** ** + · · ·	<b>→</b>				
	講義アーマ										
1	基礎栄養			栄養とは何か 6大栄養素・消化と吸収							
2	栄養各論①			たんぱく質・炭水化物・脂質							
3	栄養各論②			ビタミン・ミネラル・水							
4	食性の違い①			犬と猫の違い							
5	食性の違い②			嗜好性の決定・給与方法							
6	ライフステージ①			哺乳·離乳·成長期							
7	ライフステージ②			妊娠•授乳期							
8	ライフステージ③		j	維持期•老齢期							
9	栄養要求量①			BCS評価・要求量とは何か							
10	栄養要求量②		,	エネルギー要求量計算法							
11	ペットフード学①			ペットフードの概念、歴史							
12	ペットフード学②			目的別食種類・ラベル表示・ペットフード安全法							
13	ペットフード学③		:	特別療法食							
14	手作り食①			食べてはいけない食べ物・観葉植物							
15	手作り食②			レシピ作成・カロリー計算							
	大猫に必 コンパニ 定 小 授 ポ ポ リ	大の美容学  ■講義 □実習  大猫に必要な栄養を担 コンパニオンアニマル 評価方法 定期試験 小テスト・技術力・作品 授業態度 レポート 出席状況  講 1 基礎栄養 2 栄養各論① 3 栄養各論② 4 食性の違い② 5 食性の違い② 6 ライフステージ 7 ライフステージ 7 ライフステージ 9 栄養要求量② 10 栄養要求量③ 11 ペットフード等 12 ペットフード等 13 ペットフード等	大猫に必要な栄養を理解しペットフコンパニオンアニマルの新健康管理評価方法 評価割合(作意) 評価割合(作意) 評価方法 評価割合(作意) 非議策度 アプト・技術力・作品 授業態度 アポート 出席状況 お養者論② なき (本養を) (本学の) (本養を) (本学の) (本養を) (本学の) (本養を) (本学の) (本学	大の美容学科 年紀	大の美容学科 年次・学期 ■講義 □実習 授業コマ数(1コマ90分)  大猫に必要な栄養を理解レペットフード給与量でコンパニオンアニマルの新健康管理学評価方法 評価割合(%) 定期試験 60% 小テスト・技術力・作品 20% 提業態度 20% 出席状況 20%  は 基礎栄養 栄養を論① たんぱく 3 栄養各論② ビタミン 4 食性の違い① 大と猫の 5 食性の違い② 嗜好性の 6 ライフステージ① 哺乳・簡 7 ライフステージ② 維持期・ 9 栄養要求量① BCS評価 10 栄養要求量② エネルギー 11 ペットフード学② 目的別負 13 ペットフード学② 目的別負 13 ペットフード学③ 特別療法 14 手作り食① 食べては	大の美容学科 年次・学期 1年 ( 東務経験) 大の美容学科 年次・学期 1年 ( 東清義 □実習 授業コマ数(1コマ90分) 前期(15)後) 大猫に必要な栄養を理解レペットフード給与量での栄養管理がで コンパニオンアニマルの新健康管理学 評価方法 評価割合(%) 定期試験 60% 小テスト・技術力・作品 20% 授業態度 レポート % 出席状況 20% 諸義テーマ 1 基礎栄養 栄養とは何か 6大栄着 2 栄養各論① たんぱく質・炭水化物・ 3 栄養各論② ビタミン・ミネラル・水 4 食性の違い① 大と猫の違い 5 食性の違い② 嗜好性の決定・給与方 6 ライフステージ① 哺乳・離乳・成長期 7 ライフステージ② 妊娠・授乳期 8 ライフステージ③ 維持期・老齢期 9 栄養要求量① BCS評価・要求量とは何が 10 栄養要求量② エネルギー要求量計算法 11 ペットフード学① ペットフードの概念、歴史 12 ペットフード学② 目的別食種類・ラベル表: 13 ペットフード学③ 特別療法食	動物栄養学 担当時間	動物栄養学 (美務議制) 有■ 無□ 大の美容学科 年次・学期 1年 (■前期・□後期) ■講義 □実習 授業コマ数(1コマ90分) 前期(15)後期(一) 時間(単位) 大猫に必要な栄養を理解しペットフード給与量での栄養管理ができるような知識を学ぶ コンパニオンアニマルの新健康管理学 評価方法 評価割合(%) 定期試験 60% 小テスト・技術力・作品 20% 提業態度 20% 日席状況 20%  は 基礎栄養 栄養とは何か、6大栄養素・消化と吸収 2 栄養各論① たんぱく質・炭水化物・脂質 3 栄養各論② ビタミン・ミネラル・水 4 食性の違い① 大と猫の違い 5 食性の違い② 嗜好性の決定・給与方法 6 ライフステージ① 哺乳・離乳・成長期 7 ライフステージ② 妊娠・授乳期 8 ライフステージ③ 維持期・老齢期 9 栄養要求量① BCS評価・要求量とは何か 10 栄養要求量② エネルギー要求量計算法 11 ペットフード学② 目的別食種類・ラベル表示・ベットフード安全法 13 ペットフード学② 特別療法食 14 手作り食① 食べてはいけない食べ物・観葉植物			